

あけましておめでとうございます



下田市議会議長
中村 敦

今、このまちの活性化において大きな力となっているのが、地域の若者と移住者の活躍です。新しい視点を持ち、地域に根ざしながら様々な分野に挑戦する、若い世代の存在が維新の志を体現し、まちづくりに大きな希望をもたらしています。全国はもとより世界から移り住んだ多様な知見をもつ市民やノマドワーカー（世界を移動しながらパ

ソコン一つで働く人）が、地域コミュニティに新たな風を吹き込み、その多様な価値観の交わりは地域の可能性を大きく広げつつあります。

沼田市には迦葉山弥勒寺という天狗を祀る名刹があり、古く広く信仰を集めており、つまりこちらは天狗様がご縁の姉妹都市。天狗様の神通力にあやかり、国家繁栄・民生安泰の御利益にあずかりたいところ。

周知の通り、萩市とのご縁は吉田松陰先生。先生の主宰した松下村塾の精神である「人を育て、未来を切り開く力」は今なお輝き続け、むしろ今こそ下田には必要です。

国においては、初の女性内閣総理大臣が誕生し、男女共同参画が飛躍的に前進しています。高市早苗首相は大学卒業後すぐに松下政経塾に入門しその後、米連邦議会での勤務経験を持つ根っからの、熱血の政治家です。松下村塾と松下政経塾。字面が似ているのは偶然ではありますが、明治維新にみた変革を期待するのは私だけではないでしょう。

急速な人口減と高齢化、公施設の老朽化と財源不足、医療過疎など、地方が直面する課題は山積です。しかし歴史に根ざした誇りと、挑戦する市民のエネルギーはまさに輝きを与え、観光にも移住にも選ばれるまちとなるでしょう。

初めて私が市長に就任したとき、静岡県庁の知事室を訪ねたところ、知事から下田市をどんなまちにしたいか問われました。私は、よその人から「えっ、下田？いいなああ」と言われるような、多くの人がうらやまにしたい、と答えました。その時の知事の「それはいいね」と言った笑顔は今も覚えています。

私たちがのまち下田市は、ありがたいことに様々な資源に恵まれています。エメラルドグリーンに輝く美しい海やその背後にある里山。温泉まであります。これらの豊かな自然も私たちの暮らしを支えてくれる大切な資源です。古い街並みやそこで生まれた数々のドラマ、さらに明治・大正・昭和に渡り著名な作家たちが下田を愛したという文学の香り。黒船の歴史を今に伝える素晴らしい国際イベント黒船祭や江戸初期から続く伝説ある勇壮な太鼓祭り、などなど。そしてこれらの貴重な

議会はさらなる市民の皆様の福祉向上と安全安心の充実を図るべく共に考え協働し、地域の総力を挙げて未来を切り開くべく邁進する所存です。本年が皆様にとりまして健康で穏やかな、希望に満ちた一年となりますことを心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。本年も下田市議会へのご支援ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

下田市長
松本 正一郎



詳細については、今月の広報14ページ下段「こんにちは

「初心忘るべからず」は、能の世阿弥の有名な言葉です。新年に当たり、就任当初の自分に立ち返って、今年も様々なチャレンジを展開していきたいと思っています。皆さまにとっても、今年がよい年でありますように。

（グローバルな）資源を大切にして、次代に引き継ぐこと、日々様々な工夫をしながら地域を支えてくれている市民の皆さんもたくさんいらっしゃると思います。

明けておめでとうございます。新しい年を迎え、初心にかえってご挨拶したいと思います。

こうした大人たちの営みや努力は、必ず子どもたちの心の奥底に著実に堆積していくと思うのです。

今年も二地域居住の推進やデジタルノマド誘致など先進的なアプローチに積極的に取り組む予定ですが、それと同時に、古くから引き継がれてきた様々な資源にもっと光を当て、私たちの下田の底力を皆んなで引き上げていくことはありませんか。